



「学童保育のあ」だより 2023年度 6月号

栄区桂台西1丁目30-7
☎ 080-7084-3710
✉ gkdnoah@gmail.com



今後の予定

6.7月土曜開所日：6月3日、17日、24日
7月1日、15日、29日

＊上記土曜日全て、「ユトリ一口」こども食堂
あります12時～

✨6/16(金) 蛍鑑賞会 19:20~20:00 とわの杜

🌱6/28(水) 6月生まれのお誕生日会

おけいこ事も継続していきます

♠お抹茶 (第3水) 成澤先生 6/21(水) の予定

♠お習字 6/14(水) 28(水) (トミー担当)

♠そろばん (毎木曜日)

夏休みからスタートします

それまで基礎練習の日を設ける予定

♠ジェニーと遊ぼう 6/2(金) 9(金) 30(金)

フォニックスとゲーム

※Sarahさんの英語はしばらくお休みです。



●5月の学校生活が軌道にのってくると高学年の下校が遅くなったり、習い事があった場合など徐々に曜日ごとの出席状況が定着してきました。高学年が少ない日は、低学年は羽を伸ばす子もあれば、寂しいと訴える子もあります。1年生も素の自分を出せるようになってきました。スタッフも一人一人の性格や傾向、得意なこと、苦手なこと、嫌いな食べ物、好きな食べ物等々段々わかってきました。それぞれの個性を大事にして受け止め、寄り添い、時に正しい方向に毅然と導き、と言った姿勢でかかわっています。

聖書のことば「若者をその行く道にふさわしく教育せよ。そうすれば、年老いても、それから離れない。」(箴言^{しんげん}22章6節)

<5月のふりかえり>

●紙飛行機大会

のあでは、週に何度かお話会を開きます。5月9日のお話会で読んだ絵本は「紙飛行機」についての絵本でした。子どもたちは、絵本に出てくるいろんな紙飛行機に興味深々！そこから紙飛行機大会が始まりました！✈

ある子は、読んだ絵本に出てきた紙飛行機を真似して作ってみたり、ある子はオリジナルの紙飛行機を作ってみたりと、それぞれに特徴のある紙飛行機を作っていました。その日の紙飛行機大会では、学童の端っこにあるマルコのお部屋から反対側の畳のヨハネのお部屋まで飛ばしたら、アメちゃんを一つプレゼントという大会内容でした。マルコからヨハネまで飛ばすのは意外と大人でも難しく、なかなか子どもたちも最初は飛ばなかったのですが、多くの子が諦めずに飛ばし続け、頑張って取り組んでいました！



●アイロンビーズコンテスト

新年度恒例になっているアイロンビーズコンテスト。みんなが楽しんで作った色とりどりの作品を大きなコルクボードにしばらく展示していましたが、高学年が審査員となって賞を決めました。テレビの画面に映し出された色とりどりの作品を見ながら『がんばったで賞』『カラフルで賞』『カッコいいで賞』『かわいいで賞』『おいしそうで賞』が発表され、わいわい大盛り上がり。参加賞は憧れの「どんぐりガム」でした。



●家族への感謝のプレゼント月間

5月には母の日、6月には父の日がありますが、学童のあでは、一緒に暮らす家族やお世話になっているおじいちゃんおばあちゃんや近所の人たちの中から、2人にプレゼントを作成し、感謝のメッセージを添えて渡すことにしています。その取り組みをプレゼント月間として5～6月に設定しています。今年はおじいちゃんとおばあちゃんに、お姉ちゃんとお母さんに、と対象者を昨年とは違った組み合わせで思い思いの選択があり、なるほど！とスタッフをうならせる子も数人いました。

毎年1年生のプレゼントの一つは絞り染めの巾着です。輪ゴムとおはじき、ボタンなどを使って絞りを入れます。輪ゴムで布をつまんでクルクル締める作業に慣れていないので、輪ゴムの扱いに皆苦労していました。

巾着は大体はお母さんやおばあちゃんなど女性に贈る子が多いものですが、もう一つのプレゼントをお母さんにあげたくて、巾着をお父さん宛にする子もいます。さてお天気のいい日を待って巾着の色染めをしました。水色、ピンク、ラベンダー、緑の中から好きな色を選び、色染めを一緒にやりました。白から選んだ色に染まっていく過程を見ながら、お箸で布をつついて全体に色が回るように粘り強く取り組んでいる子も多くいました。染色～すすぎ～乾燥が終わると、翌日絞りの輪ゴムをほどいて、紐通し。1年生には慣れない作業が続きました。最後まで自分でやり通す子、途中でイヤだーもうやりたくない！とスタッフに任せてしまう子もいましたが、世界に1つの素敵な袋が出来ました。

いくつかの作品の中から1年生は1つ、2年以上は2個選択して取り組みました。選択肢として、リボンレイのストラップや名札掛け、革に刻印を押したストラップ、丸ビーズのストラップ、皮ひもで四つ編みストラップ、色んな形のタイルを貼り付けたコースター、鍋敷、物入れ、収納箱等10種類ほど。

プレゼントをあげる相手を思いながら、頑張って取り組む子がほとんどでした。何度も誘われながら逃げ続けていた子も、完成したプレゼントを持ち帰る時は嬉しそうでしたよ。

杉浦正明編著

「児童精神医佐々木正美のことばの森」から引用

<過剰期待> P 29～30 (抜粋)

- ◆親として自分の子どもだから信じられる。そして、自分の子どもだから過剰な期待はできない。
- ◆過剰期待は拒否と同じことである。子どもの現状に不満を表明していることになるのだから。

●歩さんのチョコットパステル画教室

ある日丁度居合わせた子たちが、パステル画の研鑽を続けている歩さんに教わりながら、紫陽花の図柄で作品に取り組みました。隙間時間での素敵な取り組みでした。



●YWAM Yokohama

4月からの毎週木曜日にYWAM(Youth with a mission)のチームが来てくれました！学童では、庭の掃除や、おやつ作りの手伝い、公園で一緒に遊んでもらったりと色んなことをしてくれました。

子どもたちは、自分の知っている英語とジェスチャーでお話したり、お話はしなくてもお絵描きをしながら一緒に時間を過ごしたり、一輪車が得意なお姉さんといっぱい一輪車をしたり、ひたすら鬼ごっこをしたりと、みんなYWAMのチームと仲良くなりました。



彼らはこれから日本縦断ミッショントリップにいくので6月1日が最後でしたが、みんなでお別れ会をしていい時間となりました。学童の玄関の黒板に、YWAMのチームからのお手紙が貼ってあるのでぜひ見てみてください！



みんな
一生懸命に製作中！